

(3) 社会に対する基本姿勢(地域連携)

我が国の総人口(2022年9月15日現在推計)は、前年に比べ82万人減少している一方、65歳以上の高齢者人口は、3627万人と、前年(3621万人)に比べ6万人増加し、過去最多となりました。総人口に占める割合は29.1%と、前年(28.8%)に比べ0.3ポイント上昇し、過去最高となりました。

ともの家がある鈴が峰町は全国平均の数値を大きく上回る40%近くとなっており、様々な課題を抱えています。地域のニーズに応えるよう、介護サービスのみならず、地域の社会資源とも連携して住み慣れた地域で生活できるよう支援します。

《長期計画》

地域の実情・ご利用者の必要性にあわせて、制度化された社会福祉事業と制度化されていない地域公益活動を組み合わせ、社会資源と連携して、サービスを提供する仕組みを構築します。

《中期計画》

- ◆ 地域における様々な福祉課題、生活課題に主体的にかかわり、多様な関係機関や個人との連携・協働を図ります。
- ◆ 施設での取り組みなど、「見える化」にとどまらない「見せる化」を推進し、ご家族、地域に向けて、情報の発信に取り組めます。

《令和5年度の取り組み計画》

- ◆ 地域交流スペース活用の検討をする。
現在、新型コロナウイルス感染症流行のため、地域交流スペースを活用していないが、終息次第定期的な催しを含め、地域と方と相互交流を促進する。
- ◆ ご家族、地域に対しての情報発信について
 - ① 毎月、ご入居者の写真をご家族に郵送する。(新型コロナウイルス感染症終息後も継続する。)
 - ② ご入居者、ご利用者の普段の様子等、写真など個人アルバムを作成し、ご家族が面会等で来所されたとき、いつでも閲覧できるようにする。



(4) 施設・主な設備改修の計画的な基本姿勢

ご入居者、ご利用者の住まい、活動の場であり、私たちの職場でもある「ともの家」は「安全」で「快適」に、そして「働きやすい」生活環境であることが望まれます。施設は経年とともに様々な問題が生じてくるため、修繕計画を作成し実行する。

	令和7年 (開設10年)	令和12年 (開設15年)	令和17年 (開設20年)	令和22年 (開設25年)	備考
防水関係	○		○	大規模修繕	
厨房機器関係	○		○		
空調関係		○			
特殊浴槽		○			
自動車関係		○			

・故障の多かった食器洗浄機の入れ替えを行った。

【中長期計画検討課題】

下記に掲げる事項は、上記の4つの基本姿勢とは別に今後の検討課題とする。

- ◆ 新規事業所開設の検討。
- ◆ 外国人の受け入れについて。
- ◆ 資格取得に向けての助成。
- ◆ 研修体系の構築。(採用3年(特に1年)未満職員のフォローアップ研修、管理職研修等)
- ◆ ホームページの活用。令和4年度より検討中。
- ◆ 物価高騰対策として、施設内照明の見直し、LED照明への切り替えを検討する。



部署行動計画

ショートステイ 介護2階

令和4年度を振り返って

- ご利用者の生活リズムや状態を把握できていたので、小さな変化でも気付き対応できた。相談員を通じて在宅生活や様子など知ることで、継続した生活に繋がりたい。
- 職員同士の関係性も良く、情報発信や意見交換できる環境だった。来年度も、他職種とコミュニケーションを図り、統一したケアに繋がります。
- ご利用者と一緒に製作活動を行った。一人ひとりに合った作業を見つけ取り組めたことが良かった。作品をフロア内に飾ると、ご利用者の笑顔にも繋がっており、今後も継続して取り組みます。
- 口腔ケアは、ご利用者に合わせたケアができましたが、自立の方への対応について、口腔内の確認など課題としてあがった。

令和5年度 私たちが目指すもの

「ショートステイでの生活を楽しく笑顔が引き出せるような空間をつくる」

- ◆ 暮らしの継続を念頭にケアを行う。
- ◆ 快適に過ごせるフロアをつくる。
- ◆ 美味しく食事ができるような口腔ケアを行う。

具体的行動

◆ ご入居者・ご利用者に対して

～暮らしの継続を念頭にケアを行う～

- ① ご自宅での生活リズムを把握し支援を行う。
- ② ご利用、ご家族の思いに沿った支援を行う。
- ③ 小さな変化でも気付き状態に合わせた支援を行う。

◆ 職員として

～職員として自覚を持って協力しケアの統一を図る～

- ① ご利用について気付きなど話し合いができる場をつくりケアの統一を図る。
- ② 他職種とコミュニケーションを図り、情報の共有を行う。
- ③ ご利用者主体の介護を忘れず、職員として自覚を持って行動する。

◆ 環境整備

～快適に過ごせるフロアをつくる～

- ① 換気、室温の調整を行う。
- ② ご利用者に合わせた居室をつくる。
- ③ 手すり、車椅子など手に触れる所の消毒を徹底する。

◆ 口腔ケア

～美味しく食事ができるよう口腔ケアを行う～

- ① ご利用者に合わせた口腔ケアを行う。
- ② 口腔内を清潔保持し、感染症などの防止に努める。
- ③ 口腔内にみがき残しがないか確認する。

◆ レクリエーション、余暇活動等

～ご利用の笑顔が引き出せるような空間をつくる～

- ① 四季を感じていただけるような、製作活動を行う。
- ② レクリエーションを通じてコミュニケーションの促進に努める。
- ③ ご利用者一人ひとりの個性に合ったレクリエーションを実施することで笑顔を引き出す。



部署行動計画

特別養護老人ホーム 介護2階

令和4年度を振り返って

- ご入居者の意志や思いを尊重してケアを心がけ、様々なコミュニケーションを通じて笑顔を引き出すよう努めた。
- 職員間コミュニケーションを図り、気付きなどあれば、すぐに報告、連絡し対応したことで質の高いケアに繋がった。全職員に情報を周知徹底することは、来年度も継続課題とした。
- 環境整備表を作成し、毎日活用(チェック)したことで、職員の意識向上に繋がった。また、製作した作を飾るなど、居室は個々に合ったレイアウトに努めた。
- 訪問歯科の先生のご指導、連携を図り、統一した口腔ケアを行った。
- 毎日、体操や大きな声で歌を歌い、ボールや風船を使ったレクリエーションを行い、認知機能や身体機能低下予防に努めた。

令和5年度 私たちが目指すもの

「ご入居者が安心して生活し、笑顔で過ごせるユニットをつくる」

- ◆ ご入居者が安心して過ごせる生活の場をつくる。
- ◆ 居心地の良い空間をつくる。
- ◆ 笑顔で楽しく過ごせる時間をつくる。

具体的行動

◆ ご入居者・ご利用者に対して

～ご入居者が安心して過ごせるために～

- ① ご入居者主体のケアを行う。
- ② 日頃からしっかり様子観察を行う。
- ③ 24時間シートを活用し、統一したケアを行う。

◆ 職員として

～職員同士協力し、より良いケアを行うために～

- ① 言葉遣いに気をつけて、ご入居者とコミュニケーションを図り信頼関係を築く。
- ② 報告、連絡、相談、確認の徹底。
- ③ 他部署と連携を図り、情報共有を行う。

◆ 環境整備

～居心地の良い空間づくり～

- ① ご入居者一人ひとりに合った居室づくり。
- ② フロア、居室を清潔に保つ。
- ③ 室温調整、換気の徹底。

◆ 口腔ケア

～食事を美味しく食べるために～

- ① ご入居者の口腔状態を把握し、訪問歯科診療の先生と連携を図る。
- ② 統一した口腔ケアを行う。
- ③ 口腔ケア用品を清潔に保つ。

◆ レクリエーション、余暇活動等

～笑顔で楽しい時間を過ごすために～

- ① ご入居者と一緒に季節の物を製作し飾りつけを行う。
- ② ご入居者一人ひとりに合った楽しみを見つける。
- ③ 毎日、短い時間でも体操やレクリエーション活動を行い、認知機能や身体機能低下予防に努める。

